



あびら教育プラン



安平町は「遊育」「あびらぼ」「ワクワク研究所」「ABIRA Talks」という4つの事業によって全ての世代に教育機会を提供しており、これら4つの総称を「あびら教育プラン」と呼んでいます。今月は「あびらぼ」「ワクワク研究所」の取り組みをご紹介します！

あびらぼ・ワクワク研究所の一大イベント実施！



「ビジネス編」本番～道の駅で出店！～

座学と体験を通して、小中学生が「ビジネスとは何か？」を学ぶビジネス編。その集大成として、7/24（日）に道の駅あびらD51ステーションで、ブースの出店を行いました。小学生はポップコーン、中学生はフルーツ飴。販売個数は全部で265個。5月から約3か月間かけて「味は？」「見た目は？」「価格は？」「ブースデザインは？」「声かけ方法は？」といった様々な問いに対して自分たちなりの答えを出してきた小中学生。たくさんのお客様に笑顔になってもらい、その対価として利益を得たことで、ビジネスの本質である「思いやり」に気付けたのではないかと思います。応援、ご来店いただいた皆様、誠にありがとうございました！



8名がオリジナルプロジェクトを発表！

小中学生一人ひとりが自分のやってみたいことを実現する「ワクワク研究所」。約3か月にわたって形にしてきたそれぞれのプロジェクトを、7/31（日）に町民の前で発表しました。3か月で自分のプロジェクトに愛着が湧いた8名の懸命かつ堂々たる発表に、参加者は「子どもたちの思いの込もったプレゼンに、心打たれました。自分があの年齢だったらと思うと、考えられないです」と刺激を受けて会場を後にされていました。「自分の考えを深められる場所」「やりたいことを思う存分にできる場所」「それぞれが異なることに挑戦するシェアオフィスのような場所」いずれも子どもたちに「ワクワク研究所とは？」と尋ねた際の回答です。この活動を続けることで、この町が子どもたちのワクワクで溢れる場所になっていきたいと思います。



「あびら教育プラン」についての詳しい情報はLINE、Instagramを通じて更新します！ぜひご登録ください！



LINE



Instagram